

令和5年度 年間指導・評価計画

教科	国語	学年	3	担当	
使用教科書	国語3(光村図書)		副教材	新・基礎の学習【ワーク】(新学社)	

【教科の目標】

- (1)社会生活に必要な国語について,その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2)社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め,思考力や想像力を養う。
- (3)言葉がもつ価値を認識するとともに,言語感覚を豊かにし,我が国の言語文化に関わり,国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学習活動
Ⅰ 学期	4	<input type="checkbox"/> オリエンテーション <input type="checkbox"/> 世界はうつくしいと	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業の受け方を確認し,1年の見通しを持つ。 ● 言葉の響きに注目して音読をすることで,作者の感じ方を理解する。
	5	<input type="checkbox"/> 握手 <input type="checkbox"/> 学びて時にこれを習ふ <input type="checkbox"/> 熟語の読み方 <input type="checkbox"/> 作られた「物語」を超えて	<ul style="list-style-type: none"> ● 登場人物の生き方や考え方に対して意見を持ち,内容を理解する。 ● 孔子のものの見方や考え方について自分の意見をまとめる。 ● 熟語の読み方を知る。 ● 筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して,主張を捉える。
	6	<input type="checkbox"/> 説得力のある構成を考えよう <input type="checkbox"/> すいかは幾つ必要? <input type="checkbox"/> 報道文を比較して読もう	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会生活の中から話題を決め,相手を説得できるように,話の構成を工夫する。 ● 論理の展開や表現のしかたを工夫し,説得力のある文章を書く。 ● 句点の使い方や文節の関係を復習する。 ● 二つの新聞記事を読み比べ,構成と内容について理解する。 ● 情報発信の意義と注意点を理解する。
	7・8	<input type="checkbox"/> 俳句の可能性 <input type="checkbox"/> 俳句を味わう <input type="checkbox"/> 言葉を選ぼう <input type="checkbox"/> 「私の一冊」を探しにいこう <input type="checkbox"/> 挨拶—原爆の写真によせて	<ul style="list-style-type: none"> ● 作者の心情,作品の感動の中心を読み味わい俳句に親しむ。 ● 世代間で意味や使い方が異なる言葉を探し,調べた内容について説明する。 ● これまでの読書生活を振り返り,読書傾向を分析する。 ● 詩の世界と現実世界の在り方等を対応させながら

			読む。
	9	<input type="checkbox"/> 文章の種類を選んで書こう <input type="checkbox"/> 故郷 <input type="checkbox"/> 聞き上手になろう <input type="checkbox"/> 慣用句・ことわざ・故事成語	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章の種類とその特徴について理解を深め、内容に適した文章の種類を選び、構成を工夫して書く。 ● 伝えたい内容と目的を明確にして、修学旅行記作りに取り組む。 ● 作品から人間と社会の関わり、作者の意図を読み取る。 ● 効果的な質問をすることで、相手の思いや主張を知る。 ● 慣用句やことわざ、故事成語を知り、語彙を増やす。
	10	<input type="checkbox"/> 人工知能との未来 <input type="checkbox"/> 人間と人工知能と創造性	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章を批判的に読み、これからの社会の在り方について自分の意見を持つ。
2 学 期	10	<input type="checkbox"/> 説得力のある批評文を書こう <input type="checkbox"/> 話し合いを効果的に進める <input type="checkbox"/> 合意形成に向けて話し合おう	<ul style="list-style-type: none"> ● 論理の展開や表現のしかたを工夫し、説得力のある文章を書く。 ● 話し合いが効果的に展開するように進行を工夫し、課題の解決に向けての互いの考えを生かし合う。
	11	<input type="checkbox"/> 初恋 <input type="checkbox"/> 古今和歌集仮名序 <input type="checkbox"/> 君待つと一万葉・古今・新古今 <input type="checkbox"/> 夏草―「おくのほそ道」から	<ul style="list-style-type: none"> ● 繰り返し音読し、古文のリズムと大意を捉える。 ● 古典の和歌を読み、古人の心情や作風に触れ理解を深める。 ● 繰り返し音読し、古文のリズムと大意を捉える。 ● 作者のものの見方や感じ方に触れ、その表現を味わう。
	12	<input type="checkbox"/> 書きぞめ <input type="checkbox"/> 誰かの代わりに <input type="checkbox"/> 「ない」の違いがわからない？ <input type="checkbox"/> エルサドバドルの少女ヘース <input type="checkbox"/> 紛争地の看護師	<ul style="list-style-type: none"> ● 行書の特徴を理解し、手本に従って書きぞめ作品を書く。 ● 抽象的な概念を表す語句の文脈上の意味に注意しながら読む。 ● 文法についての基礎知識を深め、日常の表現に生かす。 ● 読書を通して世界の人々の姿を知り、人間や社会について考える。
	1	<input type="checkbox"/> 温かいスープ <input type="checkbox"/> わたしを束ねないで	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章を読み、国際社会における人と人との関係について、考えを深める。 ● 筆者のものの見方や考え方、表現、作者の思いを捉え、自分の可能性について考える。
	2	<input type="checkbox"/> 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ● 演習を通して、これまでの学習を振り返り、実践力を付ける。
	3	<input type="checkbox"/> 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ● 演習を通して、これまでの学習を振り返り、実践力

			を付ける。
--	--	--	-------

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子(発表・対話の様子)	○	◎	◎
提出物の <u>内容</u> , 振り返りシートからの <u>読み取り</u>	○	○	◎
定期考査	◎	◎	-
作文等の課題	○	◎	○
漢字テスト	○	-	○

【学習アドバイス】

学習前の準備

- 教科書の音読や語句の意味調べを行きましょう。
- 教科書に載っている単元の目標を確認しましょう。
- 漢字テストに向け、繰り返し練習に取り組みましょう。

授業

- 課題や話し合いに集中して取り組み、言葉に対する理解を深めましょう。
- 自分の考えをいろいろな人と交流して、視野を広げましょう。
- 話を聞いてメモを取る習慣を付けましょう。
- 根拠を示して答えられるようにしましょう。

復習

- ノートやプリントの整理を通して、授業を振り返りましょう。
- ワークに繰り返し取り組み、問題に慣れましょう。

令和5年度 年間指導・評価計画

教科	社会	学年	3	担当	
使用教科書	中学生の歴史(帝国書院) 新しい社会公民(東京書籍) 中学校社会科地図(帝国書院)	副教材			学び考える歴史(帝国書院) ビジュアル公民(東京法令出版) 社会の自主学习歴史2・3(新学社) 社会の自主学习公民(新学社)

【教科の目標】

- (1) 我が国の国土と歴史, 現代の政治, 経済, 国際関係等に関して理解するとともに, 調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義, 特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり, 社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力, 思考・判断したことを説明したり, それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について, よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに, 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情, 国民主権を担う公民として, 自国を愛し, その平和と繁栄を図ることや, 他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学習活動
Ⅰ 学期	4	〔歴史的分野〕 □1章 第一次世界大戦と民族独立の動き □2章 高まる民主主義の意識 □3章 軍国主義と日本の行方	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界の動きと日本の関連に着目し, 大戦がその後の国際情勢及び日本に大きな影響を及ぼしたことに気付く。 ● 世界的経済混乱と社会問題の発生, 昭和初期から第二次世界大戦終結までの日本の政治・外交の動き, アジア諸国との関係, 欧米諸国の動き, 戦時下の国民生活などを通して, 軍部の台頭から戦争までの経過と大戦が人類に惨禍を及ぼしたことを理解する。
	5	□4章 アジアと太平洋に広がる戦線 □第6部 二度の世界大戦と日本 □第7部 現在に続く日本と世界 □1章 敗戦から立ち直る日本	
	6	□2章 世界の多極化と日本の成長 □3章 これからの日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ● 冷戦, 日本の民主化と再建の過程, 国際社会復帰などを通して, 戦後の諸改革の特色を考え, 世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解する。 ● 高度経済成長, 国際社会との関わり, 冷戦の終結などを通して, 日本の経済や科学技術が急速に発展して国民の生活が向上し, 国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解する。
	7・8	〔公民的分野〕 □第1章 現代社会と私たち □1節 現代社会の特色と私たち □2節 私たちの生活と文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として, 対立と合意, 効率と公正などの見方や考え方があることを, 具体的な社会生活と関連付けて理解する。

		□3節 現代社会の見方や考え方	
	9・10	□第2章 個人の尊重と日本国憲法 □1節 人権と日本国憲法 □2節 人権と共生社会 □3節 これからの人権保障	● 個人の尊重についての考え方を, 基本的人権を中心に, 具体的な学習活動などを通して意欲的に追究させるとともに, 法の意義を理解する。
2 学期		□第3章 現代の民主政治と社会 □1節 現代の民主政治	● 政治に関心を持ち, 主権者として積極的に政治に関わっていく意欲と態度を身に付ける。
	10	□2節 国の政治の仕組み □3節 地方自治と私たち	● 新聞記事や統計資料などを活用し, 現実の政治の動きを多面的・多角的に捉える。
	11	□第4章 私たちの暮らしと経済 □1節 消費生活と市場経済 □2節 生産と労働 □3節 市場経済の仕組みと金融	● 調査や討論, シミュレーションなどの多様な学習活動を展開することで, 経済に対する関心を持つとともに, 経済に関する諸課題について, 自ら考えようとする態度を身に付ける。
	12	□4節 財政と国民の福祉 □5節 これからの経済と社会	
	1	□第5章 地球社会と私たち □1節 国際社会の仕組み □2節 ささまざまな国際問題	● 国際社会が抱える諸課題について関心を高め, 様々な資料を適切に収集・選択して多面的・多角的に考察するとともに, その解決のための国際的な努力について理解する。
	2・3	□3節 これからの地球社会と日本 □終章 より良い社会を目指して	

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子(発表・対話の様子)	○	○	◎
定期考査, 単元テスト	◎	◎	—
課題等の提出物からの <u>読み取り</u>	○	◎	◎

【学習アドバイス】

学習前の準備

- 教科書に載っている単元の目標を確認しましょう。
- 教科書や資料集を読んでおきましょう。
- 定期考査や単元テストに向け, 繰り返し問題演習(ワーク)に取り組みましょう。

授業

- 話し合い活動や課題に集中して取り組み, 学習内容の理解を深めるとともに見方・考え方を広げましょう。
- ノートを集中して書き, 解説で大切なことはメモを取る習慣を付けましょう。
- 分からないことは, 遠慮無く質問をしましょう。

復習

- ノートやプリントの整理を通して, 授業を振り返りましょう。
- ワークに繰り返し取り組み, 問題演習をしましょう。

令和5年度 年間指導・評価計画

教科	数学	学年	3	担当	
使用教科書	新しい数学(東京書籍)		副教材	数学の基本ノート, 宮城県リハーサル	

【教科の目標】

- (1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2)数学を活用して事象を論理的に考察する力, 数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとする態度, 問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学習活動
1 学期	4	1章 文字式を使って説明しよう [多項式]	<ul style="list-style-type: none"> ● 多項式の計算 ● 因数分解 ● 式の計算の利用 ● 章の問題 A・B
	5	2章 数の世界をさらにひろげよう [平方根]	<ul style="list-style-type: none"> ● 平方根 ● 根号をふくむ式の計算 ● 平方根の利用 ● 章の問題 A・B
	6		
	7	3章 方程式を利用して問題を解決しよう [2次方程式]	<ul style="list-style-type: none"> ● 2次方程式とその解き方 ● 2次方程式の利用 ● 章の問題 A・B
	9	4章 関数の世界をひろげよう [関数 $y=ax^2$]	<ul style="list-style-type: none"> ● 関数 $y=ax^2$ ● 関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方 ● いろいろな関数の利用 ● 章の問題 A・B
	10	4章 関数の世界をひろげよう [関数 $y=ax^2$]	
		5章 形に着目して図形の性質を	

2 学 期	11	調べよう [相似な図形]	<ul style="list-style-type: none"> ● 2節 平行線と比 ● 3節 相似な図形の面積と体積 ● 章の問題 A・B
		6章 円の性質を見つけて証明しよう [円]	<ul style="list-style-type: none"> ● 円周角の定理 ● 円周角の定理の利用 ● 章の問題 A・B
	12	7章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理]	<ul style="list-style-type: none"> ● 〈とびら〉 3つの正方形の関係は? ● 三平方の定理 ● 三平方の定理の利用 ● 章の問題 A・B
		8章 集団全体の傾向を推測しよう [標本調査]	<ul style="list-style-type: none"> ● 標本調査 ● 章の問題 A・B
	1	数学の自由研究 問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ● パスカルの三角形【発展】 ● 瞬間の速さ【発展】 ● 容積を最大にするには?【発展】 ● 黄金比 p.235 ★他教科関連(美術) ● 伊能忠敬の業績を知ろう ● 円周角を動かすと?【発展】 ● 三平方の定理のいろいろな証明
	2		
	3		

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子(発表・対話の様子)	○	○	◎
提出物の <u>内容</u> , 振り返りシートからの <u>読み取り</u>	○	○	◎
定期考査	◎	◎	—
評価テスト	○	○	○
レポート	○	◎	◎

【学習アドバイス】

学習前の準備

- 持ち物は筆記用具(赤ペン, 定規は必ず持ってきてきましょう), 教科書, ノート, ワーク, ワークの解答集です。
- 宿題を確実にやったかを, 級友と確認をしましょう。
- 教科書の例題などで, 解き方の流れを見るなどの予習をしましょう。

授業

- 先生の話をよく聞きましょう。特に例題の解き方などは, ポイントをノートにメモしながら聞きましょう。
- 問題を解くときには, 途中の計算課程や, その数式が表しているものを説明する言葉も書きましょう。間違えたときも, 答えだけではなく, 途中式も写しましょう。
- ペア学習やグループ学習のときには, なるべくわかりやすく解き方を説明できるようにしましょう。そのためには, 今まで学習した用語を使えるようにしましょう。説明をすることで, 理解力が深まります。

復習

- 数学の学習で大事なものは, 問題を解いて答え合わせをしたときに, なぜ間違えたのかを理解することです。間違えた問題には必ず印を付けておき, 数日後にもう一度解きましょう。
- 計算の練習は毎日短時間行いましょう。計算が得意な人は, 時間を計りながら「早く, 正確に」解いてみましょう。
- 計画的に1・2年生の復習をしましょう。

令和5年度 年間指導・評価計画

教科	理科	学年	3	担当	
使用教科書	新しい科学(東京書籍)		副教材	理科資料集(新学舎) 理科の自主学習(新学社)	

【教科の目標】

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め,科学的に探究するために必要な観察,実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察,実験などを行い,科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり,科学的に探究しようとする態度を養う。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学習活動
1 学期	4	<input type="checkbox"/> 単元1 化学変化とイオン <input type="checkbox"/> 1章 水溶液とイオン <input type="checkbox"/> 2章 酸,アルカリとイオン	<ul style="list-style-type: none"> ● イオンについての観察・実験を行う。 ● 原子構造,イオンについて理解する。 ● 電気分解の実験から,電極での物質の生成すること,イオンの存在について理解する。
	5	<input type="checkbox"/> 3章 化学変化と電池 <input type="checkbox"/> 単元末 学習内容の整理・確かめと応用	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池の仕組みについて理解する。 ● 「酸,アルカリ」の特性について理解する。 ● 中和反応について理解する。
	6	<input type="checkbox"/> 単元2 生命の連続性 <input type="checkbox"/> 1章 生物の成長と生殖	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な生物について観察・実験を行う。 ● 生物の成長やふえ方,遺伝現象を理解する。
	7・8	<input type="checkbox"/> 2章 遺伝の規則性と遺伝子 <input type="checkbox"/> 3章 生物の多様性と進化 <input type="checkbox"/> 単元末 学習内容の整理・確かめと応用	<ul style="list-style-type: none"> ● 遺伝の規則性を理解する。 ● 地球上の生物の多様性とその進化の歴史や特徴についての理解を深める。
	9	<input type="checkbox"/> 単元3 運動とエネルギー <input type="checkbox"/> 1章 物体の運動	<ul style="list-style-type: none"> ● 力や運動についての観察・実験を行う。 ● 力の基本的な性質を理解する。 ● 運動の規則性について理解する。 ●
	10	<input type="checkbox"/> 2章 力のはたらき方	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギーの移り変わりと保存について理解する。
2 学期	10	<input type="checkbox"/> 3章 エネルギーと仕事 <input type="checkbox"/> 単元末 学習内容の整理・確かめと応用	<ul style="list-style-type: none"> ● 2力のつり合う条件,力の合成・分解について理解する。 ● 作用・反作用のはたらきを理解する。
	11	<input type="checkbox"/> 単元4 地球と宇宙 <input type="checkbox"/> 1章 地球の運動と天体の動き <input type="checkbox"/> 2章 月と金星の見え方	<ul style="list-style-type: none"> ● 地球の運動について理解する。 ● 月の運動と見え方について理解する。 ● 太陽系や恒星など宇宙についての理解を深める。

	12	<input type="checkbox"/> 3章 宇宙の広がり <input type="checkbox"/> 単元末 学習内容の整理・確かめと応用	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な天体の観察を行う。 ● 太陽や惑星の特徴を理解する。
	1	<input type="checkbox"/> 単元5 地球と私たちの未来のために <input type="checkbox"/> 1章 自然のなかの生物 <input type="checkbox"/> 2章 自然環境の調査と保全 <input type="checkbox"/> 3章 科学技術と人間 <input type="checkbox"/> 終章 持続可能な社会をつくるために	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然界のつり合いについて理解する。 ● 自然と人間の関わり方についての理解を深める。 ● さまざまな要因が自然界のつり合いに影響していることを理解する。 ● 科学技術の進歩による利点と反面を理解し、科学的根拠に基づいて持続可能な循環型社会構築について考える。 ● 自然環境の保全と科学技術の利用について考える。
	2	<input type="checkbox"/> 問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ● 受験に向け、1,2学年の復習も含めた問題演習を行う。
	3	<input type="checkbox"/> 問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ● 受験に向け、1,2学年の復習も含めた問題演習を行う。

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子(発表・対話の様子)	○	○	◎
提出物の <u>内容</u> , <u>振り返りシート</u> からの <u>読み取り</u>	○	○	◎
定期考査	◎	◎	—
実験プリント	◎	◎	○

【学習アドバイス】

学習前の準備

- 教科書の語句の意味調べを行きましょう。
- 教科書に載っている単元の目標を確認しましょう。

授業

- 実験観察を意欲的に行いましょう。
- 自分の考えをいろいろな人と交流して、視野を広げましょう。
- 話を聞いてメモを取る習慣を身に付けましょう。
- 根拠を示して答えられるようにしましょう。

復習

- ノートやプリントの整理を通して、授業を振り返りましょう。
- 「理科の自主学習」に繰り返し取り組み、問題に慣れましょう。

令和5年度 年間指導・評価計画

教科	英語	学年	3	担当	
使用教科書	New Horizon 3 (東京書籍)		副教材	EIGO NO PARTNER (正進社)	

【教科の目標】

- (1) 外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどを理解するとともに, これらの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的な話題や社会的な話題について, 外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり, これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学習活動
1 学期	4	<input type="checkbox"/> Unit 0 Three Interesting Facts about Languages (1・2年生の振り返り) [受け身]	<ul style="list-style-type: none"> ● 3年生にふさわしい英語の学習方法を身に付ける。 ● これまでに学んだことを使って, 世界で話されている言語について書かれたレポートの情報を読み取ったり, 行ってみたい国とそこで話されている言語について伝え合ったりすることができる。
	5	<input type="checkbox"/> Unit 1 Sports for Everyone [現在完了形(経験用法), 第5文型 (make, keep など), that 節]	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>語彙, 文法事項の習得, 音読, 内容理解, リスニング, 英作文 (以下, いずれの単元も同じ)</u> ● これまでに経験したことにもとづいて, 相手に合ったプランを伝える。
	6	<input type="checkbox"/> Unit 2 Haiku in English [現在完了 (完了用法), (継続用法) 現在完了進行形]	<ul style="list-style-type: none"> ● ずっと好きなことや, これまで取り組んできたことについて伝え合う。
	7・8	<input type="checkbox"/> Let's Talk I はじめての出会い	<ul style="list-style-type: none"> ● 初対面の相手に配慮しながら, 歓迎する気持ちを伝える。
	9	<input type="checkbox"/> Unit 3 Animals on the Red List [不定詞の構文的な使い方, 名詞的用法の応用, 使役動詞] <input type="checkbox"/> Stage Activity I My Activity Report	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の意見や考えを加えて記事を書く。 ● これまでの経験をふり返って活動報告を発表する。
	10	<input type="checkbox"/> Let's Read I A Mother's Lullaby	<ul style="list-style-type: none"> ● 感情を込めて音読する。
2 学期	10	<input type="checkbox"/> Unit 4 Be Prepared and Work Together [疑問詞を使った名詞節, 現在分詞, 過去分詞, 後置修	<ul style="list-style-type: none"> ● 気持ちが伝わるように, 声に出して読む。 ● 標識が何を意味しているかを説明する。

	飾]	
11	<input type="checkbox"/> Let's Talk 2 町中での手助け <input type="checkbox"/> Unit 5 A Legacy for Peace [後置修飾, 関係代名詞 who(主格) whichと that(主格, 目的格)]	<ul style="list-style-type: none"> ● 相手の立場に立って, 具体的な提案を申し出たり応じたりする。 ● 人やものについて詳しい情報を加えて説明する。
12	<input type="checkbox"/> Stage Activity2 Discover Japan <input type="checkbox"/> Unit 6 Beyond Borders [仮定法の基礎, 主語を説明する関係代名詞] <input type="checkbox"/> Let's Talk 3 食品の選択	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本や郷土の文化などを紹介する文を, 詳しい情報を加えながら書く。 ● 架空の状況について説明したり, 感想や意見を述べたりする。 ● 相手の意見を受けて自分の主張を述べる。
1	<input type="checkbox"/> Let's Read 2 Power Your Future <input type="checkbox"/> Let's Read 3 A Graduation Gift from Steve Jobs	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー問題に関する説明文を読んで, 概要を理解する。 ● スピーチの原稿を読んで, 内容の要点を理解する。
2・3	<input type="checkbox"/> 3年間の総復習と発展的学習	

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子(発表・対話の様子)	○	○	◎
提出物の <u>内容</u> , 振り返りシートからの <u>読み取り</u>	○	○	◎
定期考査	◎	◎	—
単元テスト	◎	◎	○
授業中の課題	◎	◎	○
パフォーマンステスト	—	◎	○
パフォーマンステストや発表までの準備	—	—	◎

【学習アドバイス】

学習前の準備

- 教科書の音読や語句の意味調べを行きましょう。
- 教科書に載っている単元の目標を確認しましょう。

授業

- 課題や話し合いに集中して取り組み、言葉に対する理解を深めましょう。
- 自分の考えをいろいろな人と交流して、視野を広げましょう。
- 失敗を恐れず発話しましょう。
- 先生の話をよく聞き、メモを取りましょう。

復習

- ノートを読み返して、その日に学んだことを振り返りましょう。
- 「EIGO NO PARTNER」や、返却された単元テストに繰り返し取り組み、問題に慣れましょう。
- 必ず、その日に学習した英語を音読して、一日の勉強を終えるようにしましょう。

令和5年度 年間指導・評価計画

教科	音楽	学年	3	担当	
使用教科書	音楽の教科書2・3上・下 (教育芸術社) 器楽の教科書(教育出版)		副教材	パノラマワイド版「表現と鑑賞の資料」 (正進社)	

【教科の目標】

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学習活動
1 学期	4	<input type="checkbox"/> オリエンテーション <input type="checkbox"/> 校歌 <input type="checkbox"/> 合唱コンクール自由曲選曲 <input type="checkbox"/> 日本の歌「花」	<ul style="list-style-type: none"> ● 校歌の歌詞を知り、味わいながら歌うことで、中田中生としての自覚を高める。 ● 10曲の中から、自分のクラスの校内合唱コンクール自由曲を選曲し、本番に向けてパート分けやリーダーを決め、音とりに取り組む。
	5	<input type="checkbox"/> 歌唱「合唱コンクール自由曲」	● 歌詞の意味を知り、その歌詞にあった発音、発声など、歌い方について学びながら歌う。
	6	<input type="checkbox"/> 歌唱「合唱コンクール自由曲」	
	7・8	<input type="checkbox"/> 歌唱「合唱コンクール自由曲」	<ul style="list-style-type: none"> ● その歌詞にあった発音、発声方法などを取得し、旋律の重なり、曲の構成に注意しながら自分たちの表現を工夫して歌う。 ● 情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌う。 ● 作曲者の思いを感じ取りながら音楽を味わう。
	9	<input type="checkbox"/> 鑑賞「ボレロ」 <input type="checkbox"/> 和楽器「箏」	<ul style="list-style-type: none"> ● 楽器の音色に親しみながら、オーケストラの響きを味わう。 ● 「箏」に関する知識、技能を得たり生かしたりして新しい奏法を用いて表現を工夫し演奏する。
	10	<input type="checkbox"/> 和楽器「箏」	● 「箏」に関する知識、技能を得たり生かしたりして新しい奏法を用いて表現を工夫し演奏する。
2 学期	10	<input type="checkbox"/> 和楽器「箏」	
	11	<input type="checkbox"/> 鑑賞「能」「文楽」「義太夫節」 <input type="checkbox"/> 鑑賞「ブルタバ(モルダウ)」	● 日本の伝統芸能に親しみ、その音楽を味わう。
	12	<input type="checkbox"/> 卒業の歌	● その歌詞にあった発音、発声方法などを習得し、旋律の重なり、曲の構成に注意し、表現を工夫して歌う。

	1	<input type="checkbox"/> 卒業の歌	<ul style="list-style-type: none"> ● その歌詞にあった発音, 発声方法などを習得し, 旋律の重なり, 曲の構成に注意しながら自分たちの表現を工夫して歌う。 ● ポピュラー音楽の特徴やよさを味わって聴く。
	2	<input type="checkbox"/> 鑑賞「世界の諸民族の音楽」 <input type="checkbox"/> 卒業の歌	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界のさまざまな楽器の音楽を味わう。
	3	<input type="checkbox"/> 卒業の歌	<ul style="list-style-type: none"> ● その歌詞にあった発音, 発声方法などを習得し, 旋律の重なり, 曲の構成に注意しながら自分たちの表現を工夫して歌う。

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子(発言, パート練習等の様子)	—	○	◎
筆記小テスト	◎	—	◎
作品(創作)	◎	◎	—
合唱の楽譜への書き込み(指導されたこと, 自分なりのポイント等を書き込んでいるか)	—	○	◎
鑑賞のワークシート	○	◎	○
チェックシート(日々の振り返り) (授業の目標に沿って学んだこと, 考えたこと等, 考えを深めているか)	○	○	◎

【学習アドバイス】

- 週に一, 二度しか授業がありませんので, 毎時間を大切に, 集中して取り組みましょう。
- 忘れ物をしないようにしましょう。
- 日頃から美しいもの, ことに触れ, 思いを言葉で表現することを意識し, 表現力, 感受性を豊かにしていきましょう。
- 音楽を聴いて感じたことや考えたことを, 自分の言葉で表現しましょう。また, 周りの人の意見を参考に, その楽曲についてより理解を深めましょう。
- 音楽の基礎知識, 技能を学習し, 表現活動に生かしていきましょう。

令和5年度 年間指導・評価計画

教科	技術	学年	3	担当	
使用教科書	技術(開隆堂)		副教材	技術のワーク(明治図書)	

【教科の目標】

- (1) 生活や社会で利用されている材料,加工,生物育成,エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに,それらに係る技能を身に付け,技術と生活や社会,環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し,解決策を構想し,製作図等に表現し,試作等を通じて具体化し,実践を評価・改善するなど,課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて,適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学習活動
1 学期	4	<input type="checkbox"/> 情報通信ネットワークの利用	● 情報通信の仕組みやコンピュータの仕組みを理解する。
	5	<input type="checkbox"/> 情報通信ネットワークの利用	● 情報通信の仕組みやコンピュータの仕組みを理解する。
	6	<input type="checkbox"/> 情報通信ネットワークの利用	● 情報通信の仕組みやコンピュータの仕組みを理解する。
	7・8	<input type="checkbox"/> コンピュータと情報処理	● 情報の伝達方法や扱い方について適した方法を考える。
	9	<input type="checkbox"/> コンピュータと情報処理	● 情報の伝達方法や扱い方について適した方法を考える。
	10	<input type="checkbox"/> コンピュータと情報処理	● 情報の伝達方法や扱い方について適した方法を考える。
2 学期	10	<input type="checkbox"/> デジタル作品の設計と制作	● 表計算ソフトを利用し,様々な関数の使い方を学びながら,表やグラフを作成する。
	11	<input type="checkbox"/> デジタル作品の設計と制作	● 表計算ソフトを利用し,様々な関数の使い方を学びながら,表やグラフを作成する。
	12	<input type="checkbox"/> デジタル作品の設計と制作	● 表計算ソフトを利用し,様々な関数の使い方を学びながら,表やグラフを作成する。
	1	<input type="checkbox"/> プログラムによる計測・制御	● 電化製品の中に制御されているものを見つけ,具体的にどのようなしくみになっているのかを学ぶ。
	2	<input type="checkbox"/> プログラムによる計測・制御	● 簡単なプログラムを学ぶことで,自分オリジナルのプログラムを作成する。

	3	□ プログラムによる計測・制御	● コンピュータを使い簡単なプログラムを作成し制御を行う。
--	---	-----------------	-------------------------------

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子(発表・対話の様子)	—	○	◎
振り返りシート, ワークシートからの <u>読み取り</u>	—	○	◎
定期考査	○	○	—
提出物の <u>内容</u> , 作品	◎	◎	—

【学習アドバイス】

学習前の準備

- 前時までで使用していたワークシートを見直し前時の復習をしましょう。
- 教科書を読み, 本時の授業の内容や使用する工具について予習をしましょう。

授業

- 自分の課題を設定し, 課題解決に向けて自分の考えを深めましょう。
- 知識や技能, 表現力を高めるために, 学び方を工夫して粘り強く取り組みましょう。
- 身の回りの当たり前前に疑問や, 課題を設定できる技術的な見方・考え方を高めましょう。
- 授業の目標を理解し, 学んだ内容を生活に生かすことができるようにしましょう。

復習

- 自宅でワークシートの整理を通して, 自分で設定した課題に対する理解を深めましょう。
- 自宅でワーク繰り返し取り組み, 知識や技能について理解を深めましょう。
- 動画資料等を活用し, 授業で使用した工具の使い方について理解を深めましょう。

令和5年度 年間指導・評価計画

教科	家庭科	学年	3	担当	
使用教科書	技術・家庭科 家庭分野(開隆堂)		副教材	技術・家庭科 家庭分野(明治図書)	

【教科の目標】

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学習活動
Ⅰ 学期	4	<input type="checkbox"/> 自分の成長と家族・家庭生活 <input type="checkbox"/> 幼児のころと今の自分 <input type="checkbox"/> 幼児の体の発達	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の幼児期をふり返り、幼い頃の夢やエピソードなどをまとめる。 ● 幼児と今の自分の脈拍の違いについて知り、幼児の体の発達の特徴について考える。
	5	<input type="checkbox"/> 幼児の心の発達 <input type="checkbox"/> 発達にとってのおとなの役割	<ul style="list-style-type: none"> ● 家族に抵抗する幼児を想像し、幼児の心の発達の特徴について理解する。 ● 幼児が基本的な生活習慣を身に付けていく過程での家族や周囲のおとなの役割を考える。
	6	<input type="checkbox"/> 遊びを支える環境 ◆おなまえワッペン製作	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼児のために工夫された遊び道具や遊び場所について調べ、遊び道具の役割や遊ぶ環境について考える。 ● 幼児の特徴をもとに、自分でデザインしたおなまえワッペンを製作する。
	7・8	<input type="checkbox"/> ふれ合い体験の前に <input type="checkbox"/> ドキドキワクワクふれ合い体験	<ul style="list-style-type: none"> ● さまざまな幼児がいることを理解し幼児との接し方を考える。 ● 幼児に合った接し方や遊びを工夫し、考える。
	9	<input type="checkbox"/> ふれ合い体験は幼児からの贈り物 <input type="checkbox"/> 子どもの成長と地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼児との触れ合い活動を通して、学んだことを発表する。

2 学期	10	<input type="checkbox"/> 家庭生活と地域での活動 <input type="checkbox"/> 多様な人びとが暮らす地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の防災マップづくりなどを通して、家庭生活が地域との相互の関わりで成り立っていることを理解し、自分ができていることを考える。 ● ピクトグラムなど誰もが暮らしやすい地域づくりのための工夫を知り、理解する。
	11	<input type="checkbox"/> 地域に暮らす高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ● 立ち上がりや歩行などの介助体験を通して、さまざまな高齢者がいることを理解する
	12	<input type="checkbox"/> 高齢者とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ● 「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。
	1	<input type="checkbox"/> 持続可能な家庭生活をめざして	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の中で、中学生ができていることを考える。
	2・3	<input type="checkbox"/> 3年間をふり返って	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容ごとにふり返らせ、これからの生活で生かしていきたいことを考える。

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子(発表・対話の様子)	◎	◎	◎
振り返りシートからの <u>読み取り</u>	—	○	◎
ワークシート・レポート(<u>提出物の内容</u>)	—	○	○
定期考査	◎	○	—
作品	◎	◎	—

【学習アドバイス】

学習前の準備

- 前時のワークシートを見直し、前時の学習内容と自分の生活について考えましょう。
- 教科書に載っている単元の目標を確認しましょう。

授業

- 学習内容への興味や関心、疑問を大切に、表現してみましょう。
- 自分の考えをいろいろな人と交流して、視野を広げましょう。
- 授業内で学んだことを、自分の生活にどのように生かしていけるのか考えてみましょう。

復習

- ワークやプリントの整理を通して、授業を振り返りましょう。
- より豊かな生活にするために、学んだことをどのように生活に生かしていけるのか、持続可能な社会に向けて行動できるのか考え、実践していきましょう。

令和5年度 年間指導・評価計画

教科	保健体育	学年	3	担当	
使用教科書	新しい保健体育(東京書籍)		副教材	学習ノート・ビジュアル(東京書籍)	

【教科の目標】

- ・各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学習活動
Ⅰ 学期	4	<input type="checkbox"/> 集団行動 <input type="checkbox"/> 体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ● 自己の体に関心を持ち、自己の体力や生活に応じた課題をもって体の調子を整えるなどの体ほぐし運動を行い、体力を高める。
	5	<input type="checkbox"/> 体力テスト	
	6・7	<input type="checkbox"/> 球技 バレーボール <input type="checkbox"/> 陸上競技 短距離走・リレー・ハードル走	<ul style="list-style-type: none"> ● 個人的技能を高め、ルールを理解してゲームを行う。また、チームで話し合い、作戦を立てる。 ● 記録の向上を目指して、仲間と協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。
	7・8	<input type="checkbox"/> 水泳 クロール・平泳ぎ <input type="checkbox"/> 器械運動 マット運動	
	9・10	<input type="checkbox"/> 運動会練習 <input type="checkbox"/> 健康な生活と疾病の予防③	<ul style="list-style-type: none"> ● 記録の向上を目指して、仲間と協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。 ● 健康の成り立ちや疾病の発生要因、運動・食生活・休養や睡眠と健康との関係について学ぶ。
Ⅱ 学期	11・12	<input type="checkbox"/> 武道 柔道 <input type="checkbox"/> 陸上競技 長距離走	<ul style="list-style-type: none"> ● 礼儀作法や相手を尊重する態度を重視し、基本動作と固め技を身に付け、自己の技能に応じた練習を行う。 ● 記録の向上を目指して、自己の体力に応じた練習を行う。
	1・2・3	<input type="checkbox"/> ダンス 現代的なリズムのダンス <input type="checkbox"/> 球技 バドミントン <input type="checkbox"/> 心身の機能の発達と心の健康	<ul style="list-style-type: none"> ● 仲間と共に踊る楽しさを味わう。学年内で発表し合い、お互いの踊りの良さを認め合う。 ● サービス、スマッシュなどの基本的な技能を身に付け、ゲームで発揮できるようにする。 ● 年齢に伴う身体機能の発達や、知的機能や情意機能の発達について学ぶ。

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子(発表・対話の様子)	○	○	◎
提出物の内容, 振り返りシートからの読み取り	○	○	◎
定期考査(期末考査)	◎	◎	—
技能テスト	◎	○	—

【学習アドバイス】

- 忘れ物をせず、正しい服装で授業に出席しましょう。
- 得意不得意にかかわらず、毎時間の授業に積極的に取り組み、できることを増やしましょう。
- ペアやグループで積極的に意見を出し合い、記録や技能の向上を目指しましょう。
- 【体育】競技規則や技能のポイントをビジュアルで確認しましょう。
- 【保健】教科書やノートの問題を解いて復習をしましょう。

令和5年度 年間指導・評価計画

教科	美術	学年	3	担当	
使用教科書	美術(日本文教出版)		副教材	美術資料(秀学社)	

【教科の目標】

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学習活動
1 学期	4	□ オリエンテーション (鑑賞・絵画)	● 教科書の内容を確認しながら、最終学年としての美術の学習内容を理解し、これからの見通しと目標を持つことができる。
	5		● 鑑賞や表現描画の演習をすることで、1年間の授業の準備をする
	5	□ 自分に向き合って表す 「今を生きる私へ」 (絵画)	● 自分を見つめ、現在の自分自身や未来への希望などを想像し考え、主題を生み出しながら表現する。
	6		● 人物の描画の基礎を学び、自分自身を見つめて感じとったことや心の中の世界などを表現する。
	7		● 自分の思いや感情を表現材料や素材を工夫し、表現することを制作を通して学ぶ。
8	● 自画像作品の鑑賞を通して、作品に込められている思いや主題を感じとり、表現の幅広さを理解する。		
	9	□ 祈りの造形を感じとる 「仏像に宿る心」(鑑賞)	● 仏像彫刻の特徴や特色を理解し、立体造形としての良さや美しさ込められている思いを感じ、関心を持って造形美を学ぶ。
	9	□ 手から手へ受け継ぐ(鑑賞) ～松川達磨～	● 日本の伝統工芸品を鑑賞し、人の手による技の素晴らしさや作者の思い、生活と深く関わってきた伝統文化について学ぶ。
	10		● 主題をもとに、自分の思いや願いを形にする方法や技法を学び、表現する。
2 学期	10	□ あなたなりの形で表す 「イメージを追い求めて」 (立体造形・工芸)	● 表現したい思いを、素材などを工夫し、特徴を生かしながら表現する発想と、技術を作品制作を通して学ぶ。
	11		● 絵の具の使い方や用具を工夫し、着彩の技術を学ぶ。
	12	□ 美術の力を考える 「あの日を忘れない」 ～ピカソ・ゲルニカ～(鑑賞)	● ピカソの代表作であるゲルニカの鑑賞を通して、その絵に込められた思いや、ピカソの生涯を理解し作者を理解する。

12	<input type="checkbox"/> 世界で1つの装飾をつくる 「自分へ贈る卒業記念品」 (工芸・立体造形・鑑賞)	<ul style="list-style-type: none"> ● 使う場面や飾る場所、思いなどをもとに、形や色彩を工夫し、3年間の集大成として、自分へ贈る作品を制作する。 ● 自分の主題に応じた表現方法を追求し、今まで学んできた素材の特徴や表現の多様さを生かしながら制作する。
1		
2		
3		

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子(発表・対話・制作等の様子)	○	○	◎
振り返りシートからの <u>読み取り</u>	○	○	◎
作品	◎	◎	—
提出物の内容(ワークシート・アイデア・演習プリント・感想プリント)	◎	◎	◎
鑑賞のワークシート	○	○	○

【学習アドバイス】

- 週に一度しか授業がありませんので、毎時間を大切に、集中して取り組みましょう。
- 授業の約束事を守るように心がけましょう。
- 普段の生活の中で、自分が美しい、素敵と思うものや出来事に触れ、感じる“感覚”を意識し、表現力、感受性を豊かにしていきましょう。
- “見る”=鑑賞も大切な学習になるので、美術館や展覧会など、本物に触れる見る機会があったら是非積極的に鑑賞しましょう。
- 感じたことを言葉でも表現することも意識しましょう。
- 授業の課題や作品は、きちんと提出しましょう。